



澤田 さわだ
裕之 ひろゆき
議員
(創政クラブ)



林道作原沢入線を活用した観光開発について

Q みどり市の富弘美術館や草木ダムなどの観光資源と本市の観光資源を組み合わせた具体的な連携事業について、どのような構想を持っているのか。また、みどり市の観光資源と結びつけた連携事業について伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

みどり市との連携事業についてですが、みどり市は大変多くの観光資源に恵まれ、また、本市も蓬萊山など自然を楽しめるものや、万葉自然公園かたくりの里の花々、安藤勇寿「少年の日」美術館や葛生化石館など、みどり市と共通するテーマを持つ観光資源があります。これらの観光資源を活用し、施設の共通券や周遊観光プランの提案、加えてそれぞれの市のグルメを紹介することで、両市への観光誘客を図っていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆遊休公有財産の処分・活用について
- ☆深刻化する獣害被害と新たな対策について
- ☆持続可能な上下水道事業の構築について



滝田 たきた
洋子 ようこ
議員
(日本共産党議員団)



子どもが遊べる環境について

Q 命の危険を感じる暑さの中、子どもたちは外で遊ぶことができない日常になっている。高萩町の公園で遊具の表面温度を測ったところ、ベンチの温度49・3度、ベンチの肘かけ54・7度、滑り台手すり46・4度と、子どもはやけどしてしまうと思った。外で遊ばせられないと多くの親が悩みを抱えていると思うが、本市の考えを伺いたい。

A 市長

猛暑が続き、危険を感じる暑さが頻発していることから、天候や季節の影響を受けずに家族で遊べる屋内遊び場を望む声が高まっていることは認識しています。

本市には、屋内遊び場としてこどもの国と4つの児童館があり、施設や設備の改善、そして利用者のニーズに合わせたサービスの提供など、運営の充実に努めたいと考えています。

また、屋内の遊び場については、今後民間事業者とも連携し検討していきます。

その他の質問

- ☆不登校支援について
- ☆佐野市内フリースクールへの支援について



谷 たに
美枝子 みえこ
議員
(公明党議員会)



企業誘致について

Q 本市では民間企業の進出を促す取り組みとして、どのような支援を行っているのか伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

佐野市企業立地促進条例に関しては、本市で指定する対象区域内への企業の立地に際し、投下固定資産に対する固定資産税、都市計画税について、5年間にわたり相当額を奨励金として交付しています。また、本社や研究施設等を本市に移転した企業に対し、5事業年度分の法人市民税相当額を奨励金として交付する制度となっています。

さらに、佐野市民間産業用地整備促進条例に関しては、本市で指定する対象区域内において、民間事業者が行う5ヘクタール以上の産業用地の整備に要する造成費用に対し、1ヘクタール当たり1,000万円を奨励金として交付する制度も設けています。

その他の質問

- ☆小学校教員の働き方改革について

